

給食指導を制するものは学級指導を制する

伊丹市立総合教育センター
所長 太田 洋子

去年の6月、伊丹市では多くの保護者が待ち望んできた完全給食がスタートしました。

「中学生が落ち着いて配膳や食事ができるのだろうか?」「忙しい中学校の日程の中で、給食指導が入るとますます忙しくなるのでは?」「アレルギーへの対応は大丈夫?」など、導入前は不安材料がありました。校内での共通理解を計画的に図りながら準備し、第1回目のカレー給食をおいしくいただいた日のことはとても印象に残っています。



実際に始まってみると、育ち盛りの中学生の食欲は旺盛です。残食も最初はありましたが、徐々に減り、毎日食缶をきれいに空にするという習慣ができました。職員室では、「今日のメニューは何?」と献立表を見て、話が弾みます。工夫されて、栄養価の高い、温かい給食は、中学校にとって無くてはならないものになってきました。伊丹市で完全給食が始まる前は、牛乳給食でした。落ち着いている学級は牛乳の残本が0ですが、学級が荒れ始めると、残本が増えるのです。毎日、残本調査をしていると、その状況がよくわかります。給食が始まったときに、そのことを意識して、残食ゼロに取り組もうと考えたのです。

4月のある日、総合教育センター5階のカリキュラムセンターで一冊の本を見つけました。高知大学准教授 鹿島真弓先生の書かれた「教師という生き方」です。中学校での教職経験30年の先生の本は最初から終わりまで、私にとって「そうそう」「そんなこともあった」と共感できる内容ばかりでした。

その中で目にとまったのが「給食指導を制するものは学級指導を制する」というフレーズです。

「教師にとって給食の時間は休憩時間ではありません。給食指導という教師のお仕事のひとつなのです。」から始まるこのお話は、学校では多くの先生方が感じていることだと思います。さらに話は続きます。

「食欲は生理的要求で、人間の要求の中でも基本的に満たされなければいけない部分で不満やストレスに直結します。これは以前よく言われたスクールカーストにもつながってしまうのです。学級崩壊は給食の時間から始まるといっても過言ではありません。」「クラスで残食ゼロを目指すだけでも学級はうまくいきます。」と。

何事に対しても、クラスでひとつのことをやり遂げるということは、達成感や連帯感を育みます。また、「もったないの精神」は人や物を大切に作る心につながります。色々難しいこともあると思いますが、各学校で工夫して取り組んでみてはいかがでしょうか。

学 力 向 上 の ヒ ャ ッ プ

平成30年度全国学力・学習状況調査から見えた

重要

出題作成のねらいから考える

前年度までの

課題が克服できているかが問われている

例えば…

小学校国語A 3

出題の趣旨 目的に応じて必要な情報を捉えることができるかどうか。

学習指導要領に示されている言語活動例との関連

【第3学年及び第4学年】 C 読むこと

ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。

授業でおさえておくポイント

記録や報告の文章、図鑑や事典などを使用する際、自分の目的に応じて、適切な段落や部分を選び、必要な情報を取り出しながらかく読むことをおさえる。

注目!
小学校と
中学校を
比較してみよう

中学校国語B 1

出題の趣旨 ・文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることができるかどうか。
・文章の構成や展開について自分の考えをもつことができるかどうか。
・目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことができるかどうか。

学習指導要領に示されている言語活動例との関連

【第1学年】 C 読むこと

イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。

【第2学年】 C 読むこと

イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。

授業でおさえておくポイント

目的や意図に応じて、内容や表現を想像、分析、比較、対象、推論などによって相互に関連付けて読むことをおさえる。

提案1

今年度の調査問題を、校内研修等を使って、実際に解いてみよう。

自分たちの気づいたことを話し合っ
て今、子どもたちが身につけておくべき力について共通理解を図ろう。

提案2

授業で子どもたちに身につけさせたい力をつけさせているか振り返ってみよう。

・「めあて」は明確か?
→○○(学習内容・学習活動)を通して□□(目指すべき到達点)ができるようになる。

・学びの質が高まっているか?
→考えさせる場面の設定や、手段は適切か。

・「ふりかえり」の時間の確保と工夫をしているか?
→子どもたちにこの授業で何を学んだのかを確認させる。

実態把握 × 授業改善

UP



指導主事で問題の分析会を行いました。

特徴 と 授業改善

特徴

学習指導要領に示されている内容等が正しく理解されているか

- 多くの情報から必要な情報を選択する問題になっている

- 質問の中で使用されている基本的な用語が押さえられている

- 自分の立場を設定し、客観的な思考（メタ認知思考）を必要とする問題が増えている

- 話し合いや会話等が展開されている場面が出題されている

- 情報を読み取り、それをまとめたり、自分の考えを書いたりする問題になっている

- 条件（テーマ・キーワード・字数等）にあった記述を求める問題が出題されている

Input

思考

Output

- 不必要な情報や条件の入った問題から必要なものを選択する教材を取り入れる

- 読む力の定着をはかるための授業づくりや教材等の工夫をする

- 日常の発問の中でおさえておくべき言葉（共通言語）を徹底して理解させておく

- 場面の設定や自分の立場を明確にし、話し合いに参加させる

- 結論から述べ、そのあとに理由をつけるように指導する

- 事実やデータに基づいて意見をまとめる

- 友達の発言の意図やその効果を検証させる

- 字数制限等の条件を提示した文章を書いたり、構成させたりする。

- 書かせるときのポイントを明確にしておく

- 書かせた作文等を使い、子どもたちに客観的評価を行なわせる

- 条件が達成できているか、教師がていねいに指導をおこなう

授業改善

教師の意図的なアプローチが必要

学習の基礎固め・授業の復習等に

「家庭学習のへや」がおすすめ!!



教科書にピッタリあったプリントが
5000枚以上



わかりやすい動画で解説
マルチメディア動画が豊富

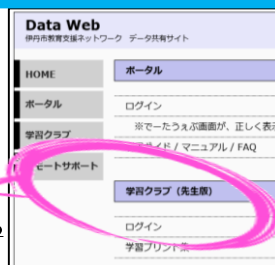
学習クラブ 先生版は

Data Web内の「学習クラブ(先生版)」から「ログイン」できます。

学習クラブ タブレット版は

伊丹市立総合教育センターのHP「家庭学習のへや」をクリック

伊丹市立総合教育センター



パソコンやスマートフォン、タブレットから使用できます

※推奨環境がありますのでご注意ください

小学校・・・国語・社会・算数・理科
中学校・・・国語・社会・数学・理科・英語 を用意しています。

発行 伊丹市立総合教育センター
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番
月～金 9:00～21:00 TEL 072-780-2480 FAX 072-780-2482
土 9:00～17:00
休館日 日曜・祝日・年末・年始

総合教育センターHP

<http://www.itami.ed.jp/>